

【刊夕】日四月八



五五税郵 錢十五月一 錢貳金部一
刊休日祭曜日 錢05行 詰字21號5料告廣
治文崎川 人刷印人編編兼行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

時事所感摘録

佐々木龍若

三、消耗的質の半減を畫
既に述べたる物體は之を一般的に總稱して物資とせん此物資に對する親切第一主義を實行することを得ば、人類生存上に必要なる物資は恐らく之を半減することを得ん、一層深く之を説かんとせば現今の流行語として一〇〇%能率を希望する上に於て無駄を省く事に歸すべし、即ち吾々の生活に要する物資は或は半分の無駄ありて此無駄を征伐することを得ば現在の消耗額の半分即ち半減となるべきなり、故に一人の平均生活費を月額二十圓を以て衣食住を處理するにせば、六千萬人にては萬貳億萬圓の物資を消耗するものとなるべし、然るに之を改良して半減することを得ば六億萬圓を以て足るべく、茲に我邦の富は過剰の六億萬圓を貯藏し得べし、勿論斯の如き事實が一旦に起る時は此物資の生産供給團體に影響すべきを以て、之が統制には

注意を要すべきも富其物の浪費を救はるべし、而して此節減は年々歳々蓋積せらるべきを以て之を海外に向つて貿易に供し對外政策に盡すべきなり。

然らば外債の如きは忽ちに銷却せられ、國家財政の基礎安定となり對外信用を増進し頗る國民として意を強ふするに足るべく、協力一致の功忽ちに現はるべし、専門家は恐らく余の半減主張に贊するの雅量を示すに吝ならざるべきを確信す從來の經驗に徴するに一〇〇%の消耗に對して四〇%を以て足り其六〇%は無駄として之を終ふる例あるを體験せること往々なり、故に専門家が夫々徹底的に調査研究するに及んでは總ての無駄を征伐し之を無用より有用に轉せしめ得べきを以て四〇%に及ばざるも之を増し五〇%に止むることを得ば即ち余が所謂消耗的物資の半減を實行し得たるものなり、此法を以て各方面を徹底的に調査するに於て

は、現在我邦に於て如何に無駄をなし徒らに國富を消費することに無關心なる國民の多數を存するかに驚くに至るべし。(完)

綴方欄

交通安全デー

平第三校第三

松崎惣兵衛

今日は交通安全デーだ此の間先生からすつた紙をもらつた

道を歩く時きれいなのはひぢやうに氣持がよい道に紙くづだのきたないものがおちてゐると人にめいわくをかける

道を歩く時は左側を通りませう、そして平はきれいだよその人に言はれるやうにいたしませう

自轉車に乗つたらぶつつかないやうに氣をつけたら道のまん中では遊ばないやうに氣をつけて、僕たちは小さい人にてほんをしめさせよう

文藝募集

本日開く

店内の照明装置等總べてウルトラモダン

平驛前新通りの尖端に起つ

氣分第一。味覺本位 カフエー藤彦

華麗な
ウエイ
トレス
のサー
ビス振
り正に
エロー
を自負

(電 394)

日本ヨリ二日間の制限

大河合超特作現代巨豪篇
問題の事實悲劇 有罪?無罪?

白痴の弟殺し 全十八卷

愛する者の爲めに犯せし罪を果して法は如何に裁いたか?

大河合超特作時代映畫

琴糸路 松尾文人 主演

義士 赤垣源藏

原作脚色・中水之助・監督・村越章二郎
葉山純之輔・久松玉城・主演

電話の秘密

ユニヴァーサル特作・大活劇ウイリアム
デスマンド氏・アーリン・セヂウイック嬢

時節柄入場料大破額………大小金拾錢

聚樂館

正確な時計

お客様本位の……

好適の眼鏡

平一常盤屋時計店

勿驚破天荒廉賣

記念新坑着炭

磐城炭界……優良地炭

正味拾貫匁入 一俵金貳拾五錢

一俵より

配達します

東京コークス・石炭業

水野氷店

平郵便局通り
電話二九九番

愛讀者への奉仕

川崎小鳥著

満州土産談

四六版二百數十頁

◇月極讀者に無代進呈◇

本紙連載の川崎本社社長執筆「満州土産談」は前後百回に亘り、満州を鋭利な観察眼に依つて、あらゆる方面より、縦横に解剖し、軽妙な筆致は、よく其の實相を捉え來つて餘す處なく、眼前に展開しました。本社は各方面の求望に鑑み、茲に多大な犠牲を拂つて、單行本となし日頃の御後援に酬えん爲め、讀者諸彦に、洩れなく無代進呈する事となり、目下印刷中であります。今や日支兩國間の交渉往來益々緊密なるに當り、満州の近情を明らかに知る事は、轉じて我が國運の歸趨を卜すに足るべく、從つて國民必讀の文字は此の好著の全幅に飛躍して居ります、御期待を願ふと同時に本社に微衷を諒せられよ！

宗家喜多氏を始め

謠曲界の重鎮來平

マルトモ樓上で素謡大會
來る十五日の夜に

平町喜多會にては喜多流宗家の繼承者たる喜多實氏を始め高木義男氏、金子五郎氏等斯界重鎮來平を乞ひ來る十五日午後六時よりマルトモホールにて素謡大會を催す等にて番組は「百萬」をシテ高木氏、ワキ金子氏「安宅」をシテ喜多氏、ワキ高木氏が夫々熱演し此外金子氏の「鳥頭」喜多氏の「殺

淺野はなぜ百萬圓寄附を拒絶したか

壯一生投

小名濱築港費として百萬圓を寄附する筈であつた、淺野家が今春突然百萬圓寄附を拒絶したから縣との間に幾多の紛糾を重ね、最後の交渉も愈々絶望と決定して小名濱築港の前途に一大支障を來すことになつた。此

あるので町會の決議を承認する事となり卅一日夜更に委員會を開き今後國庫補助を獲得すべく運動すること

藥劑師總會の準備着々成る

既報來る十五日石城郡小名濱町小學校で開催される第六回本縣藥劑師臨時總會は内田警察部長、立見衛生課長臨席の上縣下會員百五十餘名の出席を見る筈なので同會幹事長瀧田理事其

折半負擔を承認
石城郡四倉町の築港問題實行委員會で卅日十八萬圓圓の町費負擔は到底應じ難いとの聲明書を發したが同夜新妻町長と委員一同會見懇談の結果地元負擔を拒絶すれば築港中止となる憂ひが

處で考へさせられるのは淺野翁さへ生きてゐたなら、いくら淺野の財政が貧窮を告げてゐても五十萬圓か、或ひは最低二十萬圓位で折合がついたかも知れない。一旦契約書返交した以上如何に翁が死去したとは言ひびた一文も出さず、全然契約を破棄する程淺野の財政が窮乏をしてゐるかと言ふ事である。全體淺野總一郎その人は儘かに傑物であつた、非常に大膽な大企業

原太市(來賓受付係長)關内榮助(同係員)堀功、水野清一、戸村義一、足立理市、大浦孝彦、萩原俊一、深谷留吉、吉本考平

阿部康二郎(宴會係)山野邊東次郎、比佐倉之助、宇佐美友二、佐竹菊雄、木下寅市、藪部國安、佐々木節次郎、圓谷定治、菅波裕、松本當好、増子兼雄、大樂鐵雄、荒川善太郎

平役場にも庭球部生る

最近平官廳にも野球等の運動部が設けられて居るに刺戟されてか今回町役場内にも庭球部が設けられ且て平俱樂部に名を走せた大内君を先頭に古川、金子、稻葉、大和田の若手連が中堅となり毎日役場隣の九曜俱樂部コートで猛練習を勵んで居る

果樹組合協議

石城果樹組合では愈々果樹輸出の時節に入るので四日午前

家であつた。明治四十四五年頃、既に壹萬參千噸の巨船天津丸春洋丸を太平洋に浮べて海運界に覇をとなへ歐洲戦後獨逸からの賠償船大洋丸があまりに大き過ぎ

十時各種團體事務所樓上で評議員會を開き本年度生産品豫想及び出荷方法等の打合せを行ふ筈である

鮫川復活視察

鮫川復活視察 鮫川堰普通水利組合復活工事視察の爲め來郡中の農林省山本技師縣土木課提技師の兩氏は昨日事務の視察を行ひ本日浪江町へ立つた

満州土産談(111)

川崎小鳥

朝鮮には從來から、火田民と稱して、住むに家なく、耕すに土地を持たぬものが、山の中に這入つて、草根木皮を食へながら、山間を耕作して、原始的農業を営んで居る。

此の火田民なるものは、最近十數年間に廿數倍に増加し、今では五萬といひ或ひは十萬と云ふ多數の推定に達して居る。

見事に完成して今日の川崎から鶴見一帯の工業地帯の基礎を築いてゐる其の他各種の事業に手をつけたものを擧げたなら限りが無い。かくして好況時代には順風に帆をあげた如く、その資産は壹億圓以上と迄言はれたが、大正九年の財界の反動期には事業が廣範にわたつてゐる丈その打撃も頗るひどかつた。

最近の不景氣は是等の火田民にも襲來した、一方彼等は農費として、夫々若干の借金を有して居るから本年は、穀價暴落の爲め、此の借債支拂に穀物を賣盡して、生活にあえいで居る

此の民の多い地帯は、北鮮地方である。咸鏡北道甲山郡内の火田民二千數百戸、人口約二萬人は、現に糧食盡て非常な窮乏におち

はれて居た。是れ等火田民は一家眷族を悉く引き具してルンペン生活に、一生をゆだねるのである、而し此のルンペン生活者の中にも戀はある痴情關係から、火田民同志の大争鬭を惹起する事が少なくないといふ。

殊に驚くべきは、此の火田民同志は頗る早婚で、十二三歳位になると、家こそ持たぬが、既に主人たり、主婦たり得るのである。尤も朝鮮は一体に早婚

も放漫經營に流れ易く、後の締めくくりの足りない人だ、と評してゐる、尤もその言へば、淺野晝夜銀行は安田に身賣して日本晝夜銀行と改稱されてゐるし、一時は世界の海運界に全盛を誇つた東洋汽船會社も、無二の親友であつた安田善次郎翁が死んでからは、思ふ様に金繰も行かずとうとう安田銀行から見離されて一部を郵船會社に身賣する不始末を出した。

の慣習で、朝鮮教育會の改正以前には、小學校の生徒の中で妻を持つて居る者が實に四割位はあつたとの事である。

十二三歳の子供が妻帯して小學校に通學する等の現象は、内地では到底是れを見る事の出來ぬ珍景ではないか、然も今でも、一人二人の妻帯者があるといふのである。

季節支那 小節 料理 其他

安兵衛 江戶風味 是非一度 御試食を

出前 迅速

白銀町 電話(呼)二九四

夏の口犯口罪

平署が嚴重防止に努む

今年は何れも暑いといふものゝ季節は眞夏、暑さのため自然ものゝ注意力がよぶつてそのためと思はれるいろいろな交通事故の頻發水泳の犠牲者、幼児の顛落さては散歩シーズンで戸締り不十分をつけ狙ふ空巢狙ひや搔ッ拂ひ又は夏に有勝ちなエロゴロ犯罪等が眞夏の出来事として各地に發生するの鑑み各人の注意を喚起する時期となつたので平警察署では目下嚴重なる事故防止に努めてゐる

建築會平支部役員決定

本縣建築會平支部は去る二日午前七時マルトモ樓上で發會式を擧げ役員左記の如

七十名を超ゆる平町居住の妻の數

年齢は十八歳から五十歳迄

其の前身と末路

平町市内に居住する妻の數は誰も判然と知つて居る者は居なかつたが此程其筋の調査によれば總計七十三名となつて居るが未だ一調査洩れが

多數あり 確定數とまでは行かない、これらメカケの状況並に末路を調べるに年齢は一番若くて十八、

軍隊を見學

警中生徒が一週間に亘り

警城中學校四、五兩學年よりなる軍隊見學團五十名は本日午前八時平發下り列車で仙臺市へ向け出發歩兵第四聯隊を一週間に亘つて實地見學する筈である

後家、娘等は至つて少ないが、これらの女はまた多少はある、
◇
それでは彼女達の受る月々の仕送りは

どの位か、と言へば最低三十圓最高百二十圓普通五十圓から七十圓までの間で百圓以上は番外であるがこれは減多にない、或る者は四十圓づゝの仕送りを受て居たが旦那が一ヶ月に二度しか來ないので空聞の淋しさからいはいはゆる

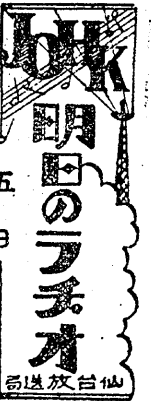
間夫なるものを見つげ乳くり合つて居たのを旦那に知られ仕送りを絶たれ今では貸針洗濯等をして漸やく其日を送つてゐる悲喜劇もあるが一方には又手内職や其他の職業についてセツセといふのを助けて居る感心なものである、
◇
又彼女等に子供が出来るのは十人に一人位であるが中にレコード破りの子持ちは五人などといふものもある、而して彼女等の末路は……

猿を盗んで

旅藝人が逃走

内郷村を流し歩く

東京府下南葛飾郡吾嬬町西一丁目居住遊藝人玉木捨藏方雇人水永清(三)は去月二十五日前借三百二十圓を踏み倒して同輩の福島美代松(三)富田芳(三)の兩名を唆かし主人所有の街道藝の猿一匹づゝと大鼓を三ヶ盗み



明日のラジオ

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 理科童話劇「雷様柚木卯馬作」木下俊子外
- 後六、三〇 東西文學の比較「沙翁と近松」(四)宮森麻太郎
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河北新報社ニュース 氣象通報告知事項 番組豫告
- 後七、三〇 講演「實施する、抵當證券法に就て」法学博士 石田文次郎
- 後八、〇〇 (テノール) 獨

明日の部

- 前六、〇〇 ラジオ体操
- 前六、三〇 夏期英語講座

今晩は南東の風曇り驟雨の味明日は南西の風曇り一時晴れ處により驟雨

五十以上 になれば大方役立たなくなるが其の統計は本署に出世したのは一割我子の世話になつてゐるのが二割、途中旦那に別れて再び元の稼業につくのが三割あるが其の残りの六割は棄てられたと同様に旦那に別れて女中や婆やになるのや財産を分けてもらひ幸福に暮して居る等である

小川の稻熱病

未だ根絶せず

石城郡小川村には未だに稻熱病が根絶せず同村内數町歩に亘り被害を見て居るのて郡農會橋本技手木名瀬毅物支所長は本日被害視察に出張した

自轉車上で頓死

石城郡夏井村字下大越木田源次郎(三)は三日午前八時頃自轉車に乗つて平町に來る途中同村山崎地内で自轉車の上で腦溢血を起し轉落死

トンネルで

首出し重傷

一日午後六時四十五分常磐線下り第二二五號列車が湯本線間傾城山トンネル内を進行中三等客の石城郡内郷村字宮佐藤民藏(三)が頭部を窓外に出してゐたためトンネルの支柱に觸れ耳下に全治一ヶ月の重傷を負つた

貸切は

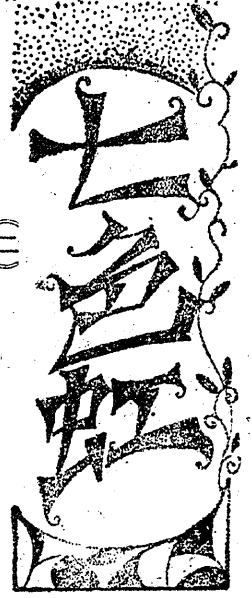
電話六四〇番

尼子タクシー部

澤正路

セメント 磐城セメント株式會社
壁用材料
コールタール 代理店 西村屋藥舗
ペンキ塗料
板ガラス 平町二丁目電三

小説



【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

ゆく春 (2)

けばくしい金色の緞帳や友染模様の引幕がすつと消えりと雛段の朱い毛氈や釣枝の花などがちらついたり蝶のやうにひらめく舞扇や白房の垂れた蒔繪の見臺や柿色三升の肩衣や、黒に裾模様らしいのや幕合ひに口上を言つた男の滑稽な顔や、そんなものも見えた、つゝいてばた／＼と起つた拍手どつと云ふ笑ひ聲が聞いた。朗かに牙を渡る絃の音につられてへう渺とした夢の國の人をさそつて行くやうな。



「二木の花のなかに立つて江戸樂のカキツバタゆかりの色サツツバメ」
「お嫁さま、あいつにお遭ひになりませんでしたか、え、あの野郎ですよ」耳端で聲がしたのでウツトリとなつてゐた千代子は、ふつと我にかへつた。
額をおさへてゐた指をはなして顔をあげると運轉手の小崎が片頬笑をしてこつちを振り返つてゐた。
「え、お歌さん……娘さんでせう、遭つてよ。」
「お遭ひになりました……何か演りましたかねえ」
「え、最初は踊で乗り合船

「ぢや、お前入つて見なかつたの、氣のつかないことをしたわね、切符を買つて上げりやよかつたのに」
「い、え、どうして……お嬢さまあの通り満員客止めつてえ景氣ですもの、買ひたへたつて切符なんか有りやしませんや」
「それは然うだけれども見せたかつたわ、お歌さんの踊だけでも……」
「なあに、彼女の踊なんか見たかごあせせんや」
「だつて」
「なんとか言ひまして、貴才造よ、うまいわねあの人は……私すつかり恐れ入つちまつたわ、それから後の清元で江戸櫻よ。い、聲ね、實際。」
「へえい、そんなに演りましたかい。へえ……」
「嬉しさうにニコ／＼と笑つた。」

「今年は」
「あれですか、ちようど三になりますよ。子の年生れでね」
「さう、ぢや私より四つ上ね」
「へえ、仕様がごあせんよ我儘者で……占ひ者なんかは口が悪いや、子の年は疑ひ深く愚痴ッぽく、心小さくいつもチュウ／＼ですつてさ」
「悠うつて高笑ひをした時に横町から駈出して來た小僧にいさなり車のカパーを衝き當ようとした、千代子がハツと驚いた瞬間くるりと車体を廻す……」
「仰天して見上げる小僧には目もくれず平氣な顔をして」
「でもあいつ一人つきりですからね、子供つてえものは……行先のことを考へると少しく心細くなりますよアハハハハハハ」
「然うでせうともさ、察して上げるわ。爺や」

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電一七〇

うな井 0.50
魚 榮
平田町(錦水隣り)
電 424

難波醫院
平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

カクテル
17キタヒラデン352
レストラン

梅毒 淋病
皮膚病 婦人病
腸胃病 腸性病
院醫科 村松
七〇一話電 町南平

貸切の●●●
御用命は？
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

門 專
産婦人科
花柳病科
◎入院應需
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

お醤油は……ヤマフル
醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品
鹽屋
合名會社
電話(營業部一〇番)
福島縣平町(醸造工場二七番)